

1. 科目名 (単位数)	福祉と経営Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SBMP1131
2. 授業担当教員	小島 崇志		
4. 授業形態	テキストの内容を基にして、ケーススタディーについて受講生によるディスカッションを行う。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	必修科目につき履修条件はありません。		
7. 講義概要	春期の「福祉と経営Ⅰ」ではテキストに基づいて基礎知識を学んだ。本講義では、この基礎知識を前提として、福祉(介護)業界における経営課題をいかにして解決するかについて、ケーススタディーを中心にグループディスカッションを通じて全員で考えていく。グループディスカッションを踏まえて考えたことについては必ず次週までにレポートとして提出すること。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 福祉(介護)業界における経営課題の解決策を具体的に考えることができるようになる。 自分の考えを自分の言葉で発表し、他人が理解できるように伝えることができるようになる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	事前学習、事後学習に加えてアサインメントを課します。レポート課題もあります(下記のとおり評定に含まれます)。		
10. 教科書・参考書・教材	日本介護福祉経営人材教育協会監修・馬場 博 編 『介護福祉経営士入門研修テキスト はじめて学ぶ介護福祉のマネジメント』日本医療企画、2015年。 参考書は授業時に挙げ、教材は必要に応じて配付します。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. ケーススタディーやグループディスカッションにおいて、積極的に発言し、議論に参加していたか 2. 4つのレポート課題につき、それぞれのテーマに対して、経営課題の解決策を具体的に考えることができるか ○評定の方法 授業への積極的参加度 20% レポート 80% (4つのレポートについてそれぞれ20%)		
12. 受講生へのメッセージ			
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	はじめに	事前学習	教科書 pp. 3-4 を読んできてください。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 3-4)。
第2回	介護サービス市場の動向と市場規模	事前学習	授業内で決めます (pp. 9-15)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 9-15)。
第3回	地域包括ケアとは	事前学習	授業内で決めます (pp. 16-24)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 16-24)。
第4回	介護の担い手と介護職員の見通し	事前学習	授業内で決めます (pp. 25-32)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 25-32)。
第5回	契約制度下における供給主体の多元化	事前学習	授業内で決めます (pp. 33-55)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 33-55)。
第6回	福祉サービスの供給主体の類型	事前学習	授業内で決めます (pp. 56-68)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 56-68)。
第7回	介護保険制度創設の経緯	事前学習	授業内で決めます (pp. 69-74)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 69-74)。
第8回	介護保険制度のしくみ	事前学習	授業内で決めます (pp. 75-85)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 75-85)。
第9回	組織の経営資源となる「人」「もの」「金」	事前学習	授業内で決めます (pp. 86-92)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 86-92)。
第10回	介護経営の「人」	事前学習	授業内で決めます (pp. 93-108)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 93-108)。
第11回	国の役割	事前学習	授業内で決めます (pp. 109-116)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 109-116)。
第12回	介護福祉サービス業の経営とは	事前学習	授業内で決めます (pp. 117-120)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 117-120)。
第13回	事業経営のための6つの要素	事前学習	授業内で決めます (pp. 121-132)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 121-132)。
第14回	マネジメントの基礎知識	事前学習	授業内で決めます (pp. 133-137)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 133-137)。
第15回	組織の基本理念を明確にする	事前学習	授業内で決めます (pp. 138-142)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 3-142)。